

立場らびっと保育園における平成28年度 自己評価

作成日:2017年3月1日 作成者:関根美恵子

	評価項目	総評(意見・改善策)
保育計画に関する評価	保育目標について	目標設定については子どもの発達や興味、季節にあった保育計画を、柔軟性を持って立てるようにしていった。保育目標に基づいたねらいや活動については日々の保育の中で職員同士で連携しながら進められるように努力していった。新しい保育園なので、目標を共有することが難しい様子が前半見られたのでクラスのノートに目標、計画を貼るようにした。毎月の月案や週案日誌などにおいて評価・反省を行い次に生かしながら、保育の質の向上に努めている
	保育について	アクシデント・保護者との内容などこまめに伝達、記録するようにしていった。保育の現場でのいろいろなルールを統一化していくのが難しく、すばやい情報の共有に努めていった。日々の点検、衛生面に気を付け安全な環境づくりを行っている。出来るだけ散歩や戸外遊び、食育に力を多く取り入れている。また後半は縦割り保育によるリズム遊び等も取り入れていった。
	行事について	年間の行事が初めの1年ということもあり数を多く行うことができなかったが、試食会、運動会、野菜堀り、親睦会など親子一緒に交流できる行事を年間を通しておこなっていくことで風通しの良い保育園を目指していった。季節の行事、食育を毎月行い、縦割りの楽しい食育タイムに繋がっている。子どもの成長を感じられる温かさを今後も伝えていきたい。
保育計画を支える諸条件に関する評価	分掌・体制	係や仕事の分担は、職員の意見や評価・反省を取り入れて各クラスの負担軽減や日時等にも余裕を持って柔軟に取り組めるよう見直しを都度行い、職員同士協働できる意識・体制を今後も行っていきたい。
	運営	組織の業務の流れが前半はうまくできずにいたため、まとまりがなかった。役職会議を毎週行い、今後の課題、それぞれの役職で仕事を分担し状況を報告しあいながら整えていった。全体会議・給食会議・給食と保育士会議も効率的に実施し、その都度全職員に記録内容を回覧し周知に努めていくことで、全職員が同じ考えの元に業務に就くことができるように努力した。
	年齢別・クラス運営	各クラスの運営も担任と非常勤の職員との連携ができてからは落ち着いていった。2歳児が少ないことで、1,2歳児と一緒に活動することが多くなっていたので、後半は年齢の成長、活動の目安をクラス担任に把握してもらい、それぞれの年齢にあった活動、制作、体の発達を促進させるようなことを意識して保育計画に取り入れてもらった。今後も異年齢、同年齢での活動のそれぞれの良さを考え、バランスよく取り入れていく。今後も経験の浅い職員のクラス運営に関しては、主任や管理者が指導しながら研鑽を深めていく。
	保健・安全指導	保育士・栄養士などすべての保育者がそれぞれの専門性を発揮しながら、子ども達に分りやすい言葉で健康・安全の指導を行っている。保健日誌に毎日の健康状態を記録していくことにより長期的な子どもの健康状態を把握することができた。感染症発生時には保護者に対して迅速に情報提供し拡散拡大防止に努めた。市の健診情報なども提示して啓発を行っている。また防災時のマニュアルチャートを添付し避難訓練、AED、防災研修などを行い、安全な環境づくりの改善や職員間の情報共有を行っている。
	園内外研究・研修	園内研修は、園の運営に関する基本的な研修しか行うことができなかった。園外研修は、それぞれの職員の経験にあった研修に積極的に参加し保育の質の向上のための知識の向上に努めた。ただ、そのあとの園内の研修につなげていくことができずにいた。今後は、研修に参加しなかった職員にも内容を広めていかれるように自主的に保育に取り入れられるように指導していきたい。
	情報について	各帳簿・書類等が適切に保管・処理・管理されているか施錠の確認を毎日行い管理している。法令遵守については、園の玄関の目につきやすい場所に、職員と保護者にわかりやすく掲示している。
	施設・設備	保育室内外の設備に関しては、毎日の点検、補修を行いながら、環境の整備に努めた。停電が何度か起きたことで電気経路の点検、整備を検討している。
	施設間交流連携	時期や回数を検討しながら、いづみ幼稚園、エンゼルおおぞら保育園との交流を定期的におこなう。また、後半には近隣のいくつかの小規模保育園との交流会も行い、保育士同士、こどもたちも良い刺激をうけていける良い機会だと思うので今後も交流を続けていきたい。
	家庭・地域との連帯	給食の試食会や個人面談、親睦会など園との信頼関係を深め、理解に繋がれよう努力している。風通しのよい保育園をめざし、親子で参加できる行事を今後もできるだけ増やしていきたい。また、近隣の畑で栽培された野菜の収穫に参加したり、パン屋さんからパンの購入したり近隣とのつながりを深めていきたい。
情報発信	ホームページの内容は見直しを行いながら更新し、園便り、給食便りなどを毎月配布し、園の理念・方針・目標を毎月周知し共有している。また、写真の販売、行事の様子をHP上で閲覧できるようにし、保育園の生活が保護者や、園に関心のある方によくわかるように情報の発信に努めている。	
給食関係	衛生管理について	それぞれの項目に従い、毎月・月1回の衛生管理点検、毎日の衛生管理・清掃チェックに努めている。今年度は放射線温度計を使用しての給食食材の検収を行った。
	調理内容について	献立の内容や食の安全性を考慮して調理に当たり、保温状態に気をつけ子ども達に適温での提供を心掛けている。毎月の給食会議でのメニューの見直し、改善や新メニューの取り入れなど話し合い、工夫を行っている。月齢、個々の発達状態に合わせた細かい離乳食の対応を心がけ、成長にあった調理や味付けをすることで食べる意欲につながっている。
	食育について	飾りつけデザート、クッキングなど毎回バリエーション豊かに適切に行っている。クラス担当制にすることで保育士と話し合い打ち合わせを密にすることで楽しい食育に繋がっている。毎月の給食の中に季節を感じられる食材を取り入れたり、飾りつけ、彩理などを工夫している。
	健康管理について	毎月1回給食便りを発行し、体調管理に役立つ情報やメニューの紹介を行っている。子どもの健康管理については、毎月の身長体重を栄養計算にいれて考慮している。また、保健日誌に細かい情報を記入し全職員が全クラス・全園児の健康状態の情報を共有している。アレルギーマニュアルや感染症の適切な対応も保育士への指導に努めている。感染症が発生した際、掲示板に発生状況を随時に知らせ、発生の拡大予防や嘔吐物等の処理の仕方の研修も行っている。
事務	事務管理について	事務処理を迅速に処理するだけに限らず、保護者対応や保育の援助をすることで全体の園の把握に努めている。